

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成30年4月20日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、私から御報告を申し上げます。本日は2件御報告をする内容がございます。

まず、広報日程について御説明をさせていただきます。

広報日程につきまして、2ページ目を御覧ください。

4月26日木曜日、（4）核燃料施設等に係る審査会合の開催が予定されてございます。議題は2件予定されております。

まず、議題の1つ目といたしまして、リサイクル燃料貯蔵株式会社・リサイクル燃料備蓄センターに関する適合性の審査が予定されております。内容といたしましては、津波防護設計に関しまして、前回の審査に引き続きコメント回答を予定しております。

次に、2件目の議題といたしまして、日本原電株式会社・廃棄物埋設施設の事業許可申請に係る審査が予定されております。こちらの内容につきましては、事故・異常時の想定事象の選定などについて、議論が行われる予定となっております。

次に、同じく2ページ目中段、4月27日金曜日、（5）第6回となります規制に係る人的組織的要因に関する検討チームの開催が予定されております。こちらの議題といたしましては、安全文化に係るガイドについての議論が予定されております。内容といたしましては、安全文化に係るガイドに記載される視点の案について議論を行う予定となっております。

日程については以上でございます。

次に、本日ございました報道について、事実関係の御説明をさせていただきたい件がございます。本日の報道で、原子力災害拠点病院に関しまして報酬加算で促進との報道がございましたので、それについて事実関係の御説明をさせていただきます。

原子力規制委員会において、原子力災害拠点病院について、診療報酬の加算対象にできないか厚生労働省と協議する方針を固めたとの報道内容がございましたが、そうした方針を固めた事実はありません。その点を申し上げます。

なお、原子力災害拠点病院に対しまして、病院の収益増加につながるような仕組みが必要ではないかといった関係者からの御意見は聞いております。そうした点については、

今後検討していくべき課題であると認識をしているところでございます。  
私からの御説明は以上でございます。

**<質疑応答>**

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問の方をお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—